



敬愛

令和4年1月27日

文責 輿石 信

第13号



「敷島中ホームページ」へ

分散登校が始まりました。ご理解・ご協力をお願いします。

1月7日の3学期の始業式から3週間が経ちます。立春も間近に迫り、日によっては朝の気温が少し緩む時もありますが、肌を刺すような寒い日との付き合いは今しばらく続きそうです。この間、新型コロナウイルスが猛威を振るい、本県でもこれまでにない感染者数となっています。このような事態を受け、県の要請に基づき、本市では、今日から、小中全16校が分散登校（～2/9）、中学校5校が部活動中止（～2/13）の措置を取っています。

○ オンラインによる生徒の学習機会の確保を。

本日から、今年度2回目の分散登校が始まりました。今回は、高校受験、そして学年末を控えた時期であることから、教育課程（その年度にやるべき各学年、各教科等の学習範囲や内容）を確実に実施していくこと、自宅待機期間であっても生徒の学習の機会を確保・保障していくことを第一に考え、生徒は1日おきに登校し、対面授業（登校日）とオンライン授業（自宅待機日）を交互に受けながら、学習を予定通り進めていくこととしました。

本校では、これまで、オンラインでの家庭とのやりとりについては、個別また部分的に行ってききましたが、全校を対象とした2週間という長期にわたるオンラインの活用は初めての経験となります。そのため、授業内容は、教師から生徒に説明することを中心とした講義的な形となる場合が多くなることをご了承ください。

また、本校職員も限られた時間の中で準備を進めて参りましたが、初めての試みでもあり、不具合や不都合が生じることもあるかと思いますが、貴重な経験として今後の改善につなげていきたいと考えています。



○ 初日の様子です。

今日は初日でもあり、いくつかの教室におじゃまをし、その様子を参観しました。座席は、各教室とも、お互いの距離が十分に取れるよう「市松模様」に配置し、前後左右に空席ができるようにしてあります。



8:40から始まった朝の会では、家庭でオンライン参加している生徒も、きちんと身だしなみを整え、ジャージに着替えて、担任の呼びかけに応じていました。また、各教科の授業では、教師の説明を聞きながら聞いたり、ノートを熱心にとったりしている姿が多く見られました。いくつかの授業では、オンラインで、教師と生徒、あるいは生徒同士が意見交換や考えを共有したりするなど、双方向のやりとりもする場面も見られました。

今日は、いくつか家庭から問い合わせがありましたが、初日とすると、大きな混乱もなくスタートできたように思いますが、今後は、実際に利用している生徒の意見も聞きながら「よりわかりやすく、伝わるオンライン授業」となるようにしていきたいと思ひます。

○ 規則正しい生活を。不安等がありましたら学校へ連絡を。

分散登校期間は、1日おきに登校するとはいえ、通常と異なり、変則的な生活となります。家庭で一人で過ごす時間が増えることで、生活のリズムが崩れたり、精神的に不安定になったり不安を感じたりすることも考えられます。

学校では、生徒が登校した日に、一人一人の様子をより丁寧に見ていきますが、家庭においても、いつも以上にお子さんの様子をきめ細かく見ていただきたく思ひます。その中で、お子さんの変化に気付いたり、心配事ができましたら、学校に遠慮なくご連絡、ご相談ください。学校としてできる対応を、ご家庭といっしょに考えていきたいと思ひます。そして一刻も早く、第6波が収束し、子供たちが元気に登校できるよう、家庭と学校が協力し、感染予防に努めていきたいと思ひます。各家庭にはご負担をおかけしますが、よろしくお願ひします。